

再編に関するQ&A

Q 「防災・少子化に伴う小中学校の再編」の理由は何ですか。

A 児童・生徒の命を守るため、津波被害が想定される学校の防災対策は喫緊の課題です。また児童・生徒数が減少することで、次のことが心配されます。

- ① 児童・生徒の切磋琢磨する機会が少なく、子どもの競争心や向上心、社会性を育てにくい
- ② 学習において、多様な考え方やものの見方に触れる機会が少なくなる
- ③ 球技・合奏など、集団で行う部活動が難しくなる
- ④ 人間関係や位置関係が固定化しやすい

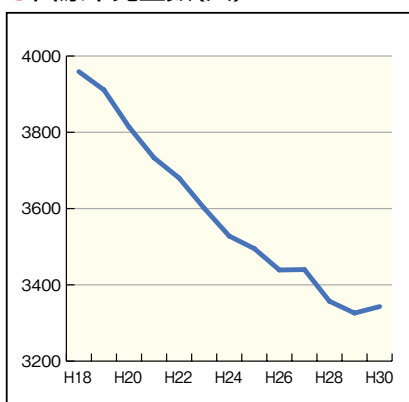


▲地震・津波避難訓練（堀切小学校）

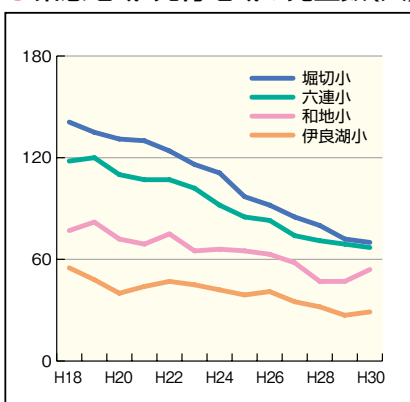
Q 緊急地域・先行地域の小学校児童数ほどの程度ですか。

A 児童数は、現在の0歳児が小学校に入学する平成31年まで推計が可能です。市全体で見ると、子ども数は減少する傾向が続いており、今後もこの傾向が想定されます。特に、緊急地域、先行地域の小学校の減少は大きく、次のとおりです。

●田原市児童数(人)



●緊急地域・先行地域の児童数(人)



Q 再編によって、子どもたちの心の負担が大きくなるから心配です。

A 小学校では、統合前から合同の授業や行事の体験など、児童の交流活動を計画していきます。中学校では、統合前から授業や生徒会などにおいて、生徒間の交流活動を実施したり、部活動も合同練習を行ったりすることで、小学校と同様に生徒の交流活動を進めていきます。



●入学式（伊良湖小学校）



●部活動激励会（野田中学校）

Q 再編によって、通学距離が長くなる場合の支援はありますか。

A 通学距離が長くなる児童・生徒には、スクールバスの運行などにより支援を行います。現在も、童浦小学校のある白谷地区では、スクールバスを運行しています。



堀切・伊良湖・和地地域の学校再編の取り組み

小中学校再編については、今年の5月から、学校を考える会など13回、延べ約490名の方々々と意見交換を行ってきました。各地域で出た意見をまとめると次のようになります。 ※詳細については、教育委員会のホームページなどで確認できます。

http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/

① 小学校の統合については、ほとんどの方が賛成で、堀切小・伊良湖小・和地小を一本化し、和地小に統合させたいという意見が多数ありました。

② 伊良湖岬中は、統合を進めるべきだが、移転先は赤羽根中に統合させたいという意見が多かった一方で、福江中でのいとする意見もありました。

③ 中学校の統合については、渥美地域全体の課題となるので、渥美8校区での協議の場を設けるべきとの意見が提出されました。

これらの意見などを踏まえて、各地域の皆さんと協議していきます。